

中学校

1年

# 大仏をつくることができた理由を説明しよう

高槻市立第六中学校

教科

社会

単元名

仏教の伝来と奈良時代

## 単元でつけたい力

(教科等でつけたい力)

- ・奈良時代に大仏を建立することができた理由と、それをとりまく背景を理解する。
- ・律令国家の確立にいたるまでの過程、東アジアの制度を取り入れた国家のしくみを理解する。(学校図書館等の活用でつけたい力)
- ・課題解決に必要な情報を収集し、比較してより最適な情報を選択する。
- ・収集した情報をを使って課題解決に生かす。

本単元で育む主な情報活用能力

A - STEP4, B - STEP4  
E - STEP4, F - STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



## 単元における学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○世界の宗教建築について調べる（☆）（本時） ・東大寺の大仏をはじめ、世界の宗教建築について理解する。 ・単元をつらぬく問い合わせに対する答えを予想する。
第2次 (1時間)	○聖徳太子の政治改革 ・聖徳太子や蘇我氏が目指した政治や文化の特色を理解する。 ・聖徳太子の政治の特色や大陸との関係に着目して考察し、表現する。
第3次 (1時間)	○東アジアの緊張と律令国家への歩み ・大化の革新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。 ・7世紀の国内情勢を、東アジアの動きに着目して考察し、表現する。
第4次 (1時間)	○律令国家の成立と平城京 ・律令制度の内容を基に、古代国家の仕組みを理解する。 ・古代国家の仕組みについて、中国の影響に着目して考察し、表現する。
第5次 (1時間)	○奈良時代の人々の暮らし ・奈良時代の人々の生活を理解する。 ・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度に着目して考察し、表現する。
第6次 (1時間)	○天平文化と仏教 ・代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。 ・天平文化の特色について、遣唐使の活動に着目して考察し、表現する。 ・奈良時代に大仏を造ることができた理由をまとめる。
第7次 (1時間)	○単元テスト ・まとめの小テストを実施する。

## 本時のねらい

世界の宗教建築について項目ごとに情報を集め、なぜ造られたかを理解し、奈良時代に大仏を造ることができた理由の仮説を立てる。

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	○東大寺の大仏について、共有する。 ○世界の宗教建築について、どのようなものがあるかの説明を行い、「大仏をはじめとする世界の宗教建築がなぜ造られたのか」の問い合わせに対する答えを予想する。	大陸からもたらされた仏教が、我が国の文化の様々な面に影響を及ぼしたことについて、その変遷を理解する。
展開 (30分)	○大仏をはじめとする世界の宗教建築はなぜ造られたのかを図書資料で調べてワークシートにまとめていく。各班でどの宗教建築について①～⑤から調べる内容を選ぶ。 ①なぜ、造られたのか（時代背景） ②概要について（大きさ、重量等） ③制作期間、費用はいくらかかったか ④制作にあたり苦労したことなどはあるか ⑤その後の変化から現在の状況 ○各班で図書資料を活用して調べ、まとめた内容を発表する。	・本を活用して、情報収集を行い、まとめていく。 ・調べる項目を設定し、発表を簡潔にできるようにする。
まとめ (10分)	○発表を聞いて、「奈良時代に大仏を造ることができた理由について説明しよう」という問い合わせについての仮説を立てる。 ○世界の宗教建築について、振り返りを行う。	・ワークシートに振り返りを記入する。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・日本史の授業の中であっても、常に世界も動いていることを意識できるように、世界の宗教建築に目を向けさせている。
- ・生徒が調査する世界の宗教建築は、世界遺産から選ぶこととしている。
- ・図書資料の中で注目してほしいページに付箋をつけて提供した。

## 授業で使った本の例

- ・青柳 正規『世界遺産 ふしき探検大図鑑』小学館
- ・池上 彰『国際関係がよくわかる宗教の本①～④』岩崎書店
- ・児玉 祥一ほか『日本の遺跡と遺産①～⑦』岩崎書店
- ・池上 英洋『ふしき？なるほど！西洋美術たんけん1～3巻』日本図書センター



宗教建築について調べている様子